

令和7年6月9日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の交流会～事業報告書

- 1 実施日：6月6日（金）18：00～20：00 オープンスペース1F
- 2 担 当：株本就子
- 3 参加者：17人（内学生5名）
- 4 講 師：草郷孝好さん（関西大学社会学部教員）
- 5 目 的：地元学（自然、歴史、文化そして生活する人々という地元にある資源に着目し、これらの資源を活用して地域発展を促していく手法）を学び、地元人（土の人）と住民以外の人（風の人）が相互の交わりの中で、異なる視座を活かし、地元にある資源や課題、活用の気づきにつながることを知る機会とする。
- 6 内 容：
 - ① 「地元学」についての学び（講師：草郷孝好さん）
 - ② 5月25日に行った「地元ぶらぶら学」の報告
 - ③ 交流会
- 7 アンケートおよび感想より抜粋（回答数：11）
 - ・上からの押し付けでなく、住民自ら働くことがウェルビーイングな街づくりにつながると感じました。
 - ・地域学、初めての講義を聞きました。地域の再認識を通して人的、物的な開発が大事と感じました。
 - ・高校生の言葉の質の高さに感心しました。
- 8 振り返り
 - ・「地元学」の学びは2回目であったが、参加者やまち歩きをした場所が違うとまた新たな気づきがあることがわかった。
 - ・来年度、地元ぶらぶら学を開催する場合は出発点を換え、「うちぶん」「あしふく」などを拠点とすると今までと違った視点を共有できる。
 - ・今回、地元ぶらぶら学からあまり日程を開けずにソーシャルナイトを開催したので、PR 時間が短く、参加人数が少なくなった。地元ぶらぶら学の後、そのまま報告会として地元の人たちを招くなど工夫が必要である。

以上

